

平沢復興大臣と櫻田代表幹事が、東日本大震災の被災地復興を巡って意見交換を実施

平沢勝栄復興大臣と櫻田謙悟代表幹事は3月16日、東日本大震災から10年を迎えた被災地の復興を巡って、オンラインで意見交換を行った。

平沢大臣は復興庁への人材派遣など、経済同友会のこれまでの被災地支援に謝意を伝えられた。

また、福島県産品を社員食堂や贈答品などで積極的に流通・販売していたこと、福島イノベーション・コースト構想を推進するため、国際教育研究拠点などへ積極的に参画していただくことなど、福島復興の一層の推進に向けて、協力の要請をされた。

これに対し櫻田代表幹事は、交通インフラや公共施設の復旧作業が概ね完了していることを踏まえ、これまでの政府の復興の努力に敬意を表した。その一方、福島県の原因災害被災地には10年を経た今も帰還困難区域が存在していることや、岩手県や宮城県でも十分に人口が戻っていない被災地が多いことなどを念頭に、次の10年に向けて、

「復旧ではなく復興」という考えの下、継続性のある取り組みを進めていただくことに期待を表明した。

なお、経済同友会では、地域産業の将来を担う若者の成長を支援することが重要との考えの下、2011年7月に「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」を立ち上げ、16年9月までの5年間10期にわたり、全国の企業・法人496社、個人71人から総額21.8億円の寄付金を集め、被災した専門高校に実習機材を提供した。さらに、被災三県(岩手・宮城・福島)の各国公立大学が手掛ける復興事業や、被災三県が運営する震災遺児・孤児の支援基金に寄付を行った。

その他にも、事務局経由と直接出向



平沢勝栄復興大臣(写真手前中央)

を併せて企業人材23人の復興庁や福島・宮城復興局への派遣、追悼シンポジウムや夏季セミナーをはじめとする各種会合の被災三県での開催、東北未来創造イニシアティブへの特別協力などの復興支援活動を実施した。

No.837 April 2021 経済同友会 4

C O N T E N T S

特集1

未来選択会議
第2回 オープン・フォーラム
未来選択につながる民主主義 03

特集2

第15回教育フォーラム
Withコロナで求められる
教育のあり方とは 12

Doyukai Report

第46回日本・ASEAN経営者会議
完全オンラインで初のAJBM
ウィズ・コロナの日本と
ASEANの連携の可能性を議論 16
産業懇談会
新年度も創意工夫凝らした多彩な活動を推進 18

Seminar

第1339回 会員セミナー
ポストコロナの世界における菅政権の経済政策
熊谷 亮丸 氏 経済同友会 幹事 / 経済情勢調査会 委員長 /
大和総研 専務取締役 / 内閣官房参与 (経済・金融担当) /
政府税制調査会 特別委員 20

Column

私の一文字 若林 辰雄
「『信』を追い続ける」 02
リレートーク 山本 麻理
「万物は言によって成る」AIで言葉を解析」 19
私の思い出写真館 アキレス 美知子
「女性リーダーたちとの出会い」 23

新入会員紹介

平沢復興大臣と櫻田代表幹事が、
東日本大震災の被災地復興を巡って
意見交換を実施 22